



第 401 号
発行 2024年 5月15日

佐賀市緑小路1-3
社会福祉法人めぐみ厚生センター
めぐみ園 0952(34)7722
どりいむ 0952(34)7727
E-mail s-megumi@basil.ocn.ne.jp
富士学園 0952(63)0107
ウイズ富士 0952(51)0063
ピースハイム 0952(64)2012
E-mail fuji-g@b2.bunbun.ne.jp

発行者 栗林 恵一
印刷所 (株)古川総合印刷

ホームページURL <http://www.megumikousei-center.org/>

令和六年一月一日(日)に石川県の能登半島で震度七の地震が発生し、多くの方が被災され今も不自由な生活を余儀なくされている。これを受け、佐賀県では令和二年に結成された佐賀DCAT(災害派遣福祉チーム)が初めて被災地に派遣された。

DCATとは、長期間の避難生活が余儀なくされる大規模災害時に、要配慮者となる可能性が高い高齢者や障害者、乳幼児等に対して、避難所等での必要な福祉的支援を行うためのチームで、都道府県により『DWAAT』と呼ばれる違いがある。

今回、私はこのDCATの第一クルの一員として、二月二十九日から三月五日まで被災地支援に携わることとなりました。研修は受けていましたが、いざ被災地支援となると本当に被災者の方々の支援が出来るのかと不安があり、要配慮者が体育館やコミュニティセンターなどに避難されている方や、避難所を利用されていない方が居る等、テレビや新聞等で報道されている内容だけでしか把握していませんでした。



「能登半島地震による被災地支援」

富士学園生活支援課長

陣内 龍二



現地に到着してからは、県庁職員の方から現状と業務内容の説明を受け支援に従事することとなり、配属はDWAAT事務局で各避難所の状況確認、情報収集やオンライン会議のサポートが主で、状況確認、情報収集の際に実際に避難所の視察に参加しました。最も災害の規模が大きかった避難所では高齢者の方が避難されていて、各専門チームがそれぞれにブースを構え支援を行い、その他にも各避難所で被災者の問題解決のため相談支援等が行われていました。

また、今回甚大な被害を受けている石川県珠洲市でのDWAATの支援活動準備で、金沢市からの経路やライフレイン復旧状況の調査の補助を行いました。能登半島の北部に行くにつれ道路の陥没や土砂崩れ、倒壊した家屋などが、そのままになっており被害の大きさを目の当たりにしました。そして、ライフレインの中でも水道(特に下水)の復旧が遅れている地域では感染症も流行しているとのことでした。

今回、短期間でも被災地支援に携わ



石川県総合スポーツセンター DWAATの活動ブース

り、少しでも被災者の方の手助けになったのかと不安ではありますが、実際に現地の実状に触れ、情報共有システム(インターネット)を利用した情報整理、オンライン会議等)やライフレインの確保の重要性など多くのことを学ぶことが出来ました。しかし、今回最も実感したことは、如何に様々なことが発展し利便性が良くなったとしても、最後にはマンパワーが必要不可欠であり、人と人が思いやりを持って関わり、協力していくことが被災地支援において最も大切なことではないかと感じました。(尚、第一クルにめぐみ園の山崎生活係長、第二クルにウイズ富士の石松支援員も派遣され活躍されました。これより先に福祉避難所等に対する福祉関係職員等の派遣にめぐみ園の三浦係長も参加されています。)

富士学園でも「BCP(自然災害時業務継続計画)」を作成し、地域の福祉避難所としての役割、ニーズにも応えることが出来るよう研鑽に励みたいと思います。



皆さんを紹介



～せせらぎ(男性)棟～



～そよかぜ(女性)棟～

四月一日(月)、めぐみ園でも新年度が始まりました。午前中は法人本部で辞令交付式、午後からは創作活動室で体制発表がありました。今年度は新規に五名の方が採用され、皆さん、新体制の下、新たなスタート！満開の桜も祝福しているようでした。

新年度始まる！

めぐみ園



静かな祈りの時間を持ちました



めぐみ園では四月十日(水)にイースター礼拝が海東牧師の司式で行われました。室内にはイースターにまつわる様々なイラストと共に、今までにお亡くなりになった方々の写真も飾られ、天に召された方々を静かに偲ぶ場にもなりました。皆さん、様々な思いを胸に、静かな祈りをささげてらっしゃいました。

イースター礼拝



久々の練習も、皆さん楽しまれていました 来年こそ、優勝！



四月二十日(土) 久々に予定された親善球技大会グランドゴルフの部に、六名の方が参加されました。直前まで雨の予報が出ており、開催が危ぶまれましたが、幸い雨になることはなく、楽しい大会となりました！
来年こそ優勝を狙います！

親善球技大会
グランドゴルフ



楽しい時間を過ごすことができました！



四月二十三日(月) ぶどうの木クリニックより、あいちゃん、けいちゃんが来園され、とても楽しいスプリングコンサートを開いて頂きました。会場となった創作活動室は、お二人の軽快なトークとすてきな歌声に、会場一体となる大合唱！短いながら、思い出に残る時間となりました。

ぶどうの木クリニック
スプリングコンサート

富士学園

自治会

サンライフ、パールライフ共に毎週金曜日に自治会を行っています。利用者の皆様がデイルームに集まり、意見や施設への要望を言われる場です。初めに先週決めた目標を守っていたか、次に今週の目標を皆で決めていきます。『手洗い、うがいをする』『皆と仲良くする』『早起きをする』などの意見がよく挙がっています。



誕生会 パン祭り

三月十三日(水)、二月と三月に誕生日を迎えられた利用者の方たちをお祝いするため、昼食にパン祭りを行いました。『カレーパン』『クリームパン』『チョコチップメロンパン』など、数多くのパンが用意され、バイキング形式での食事となり、今回のパン祭りを利用者の方達は十分に楽しまれました。



ウイズ富士

新体制発表

令和六年四月一日(月)午後よりウイズ富士食堂にて新年度のクラス発表が行われました。最初に早田施設長からの挨拶があり、続けて中原部長より新年度体制の発表が行われました。



利用者の皆様も緊張した表情で静かに聞かれておられ、また御自身のお名前を呼ばれると元気に返事をして下さる方や手を挙げて下さったり、それぞれに返答されていました。春の訪れと共に、新たなスタートです。体調に気を付けながら一年間頑張りたいと思います。利用者様、お一人お一人が健康で幸せ多き一年間でありませうように♡



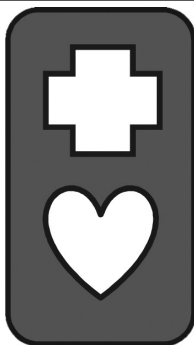
ピースハイム

ヘルプマークを活用

新型コロナウイルスが五類に変更されて一年近く経ちますが、まだまだ周辺では感染者が出たという話を聞きます。ピースハイムの入居者の方も五類へ変更されて以降、各々に外出を楽しまれています。先日の出来事で、交差点を渡る際に戸惑われて、中央分離帯を歩いている時に巡回中のパトカーに保護していただいたということがあります。この話を受けて、直ちに個人で外出をされる方を対象にヘルプマークを付けてもらうことにしました。

ヘルプマークとは、「外見からはわからなくても、援助や配慮を必要としている方」にバッグ等に付けてもらって、必要な時に周囲の方に支援してもらうことを目的としたものです。使わずに済むことが理想ですが、街中や病院、商業施設などで見かけられた時は一声かけてもらうと安心されると思います。

ヘルプマーク



赤地に白抜きデザインのヘルプマーク

ふれあい

科別ドライブ(紙工科)
(ウイズ富士)

四月八日

(月) ウイズ富士紙工科は佐賀市大和町の今山チューリップ園までドライブに出掛けました。当日は生憎の小雨模様でしたが、奇麗に咲いたチューリップを鑑賞して気持ちの良いドライブとなりました。

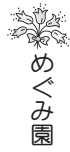


聖句

その後、十一人が食事をしているとき、イエスが現れ、その不信仰と、かたくなな心をおとがめになった。復活されたイエスを見た人々の言うことを、信じなかったからである。それから、イエスは言われた。「全世界に行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えなさい。信じて洗礼を受ける者は救われるが、信じない者は滅びの宣告を受ける。信じる者には次のようなしるしが伴う。彼らはわたしの名によって悪霊を追い出し、新しい言葉を語る。手で蛇をつかみ、また、毒を飲んでも決して害を受けず、病人に手を置けば治る。」

(マルコによる福音書
十六章十四節〜十八節)

新任職員紹介



めぐみ園

生活支援員 白濱 裕一



利用される方々、一人ひとりが安心して生活できるように支援をします。

生活支援員 柳瀬 大輔



思いやりの心を持って、丁寧な支援をしていきたいです。

生活支援員 渋谷 由唯



思いやりを忘れず、利用される方が楽しく過ごせるよう頑張ります。

生活支援員 小森 ゆき



利用される方に信頼される生活支援員になれるよう、一日でも早く仕事を覚え支援できるように頑張りたいと思います。

保育士 原 望



利用児・保護者の方々が安心して利用いただける施設支援員になれるよう頑張ります。



ウイズ富士

生活支援員 光野さやか



利用者様との関わりを大切にして皆様に寄り添ったサービスを提供出来るように頑張っています。

生活支援員 島 信隆



利用者の皆様に日々楽しく笑顔で過ごして頂けるよう明るく楽しく支援を頑張ります。



富士学園

生活支援員 山口 健太



利用者の皆様のために、一生懸命頑張りたいと思います。

皆様ありがとうございます
(三・四月分)

めぐみ園へ

● 平山成人様

● 長尾耕三様

● 榎石井建設様

● 栗林聖子様

玉ねぎ寄贈

寄付

消毒液寄贈

寄付

何でもコーナー

鯉のぼりの由来は

五月五日は端午の節句ですね。端午の節句に鯉のぼりを掲げる由来をご存じでしょうか？



実は鯉のぼりの始まりは江戸時代とされています。

江戸時代、江戸城で將軍のお祝いをする重要な日があり、その日が端午の節句である五月五日でした。そんな中で將軍に男の子が誕生すると、世継ぎである男の子の誕生を祝い、五月五日のお祝いの際に吹き流しや幟などを掲げるようになりました。

その風習が武家や庶民の中でも徐々に広まり、男の子が生まれた印として吹き流しや幟を掲げるように。さらには、その幟自体に縁起がいいとされる鯉の絵を描くことが広がり、現在の鯉のぼりの風習が根付いたとされています。

あしがき

皆さんゴールデンウィークはどのような過ごしでしたか？休日なのに逆にお出かけで疲れが溜まった方もいらっしゃるかもしれません。風薫る五月の新緑を愛することで日頃の疲れやストレスの緩和に一役買うかもしれませんね。